

三次元セファロ分析システムの構築に関する研究

1. 研究の対象

以前に当院で矯正治療のための CT を撮影された方

2. 研究目的・方法

以前から矯正治療ではセファログラムと呼ばれるレントゲン写真が使用されてきました。セファログラムを用いることで詳細な頭部の形態の把握が可能になったものの本来の立体的な形態が二次元で表示されてしまうという欠点があります。そのためこの研究では CT(立体的なレントゲン)を使用して頭部の形態を把握して 3 次元的に分析を行うことができるシステムをつくります。

7～13 歳の日本人の方々に CT を撮影したことがある方を対象とします。カノミ矯正歯科クリニック、かめおか矯正歯科に来院された患者様の過去に撮影された CT データを使用します。その CT データを用いて骨格の決められた部位を記録し、各点、各面の平均値を出し、評価を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

矯正治療のために撮影した CT データ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立大学法人大阪大学歯学研究科 06-0879-5111 矯正科 谷川 千尋

研究責任者：

国立大学法人大阪大学歯学研究科 矯正科 谷川 千尋